

ふくい街角景気速報

(令和6年12月分)

調査期間 令和6年12月19日～26日 (回答率: 91%)

概況

景気の現状判断DIは46.4となり、前月と比べ6.3ポイント低下した。

景気の先行き判断DIは44.0となり、前月と比べ2.7ポイント低下した。

■景気の現状判断DI 46.4 (前月比 ▲6.3)

- 家計動向関連では、前月に比べ 6.1 ポイント低下した。
- 企業動向関連では、前月に比べ 6.6 ポイント低下した。
- 雇用関連では、前月に比べ 6.3 ポイント低下した。

(意見の主な内容)

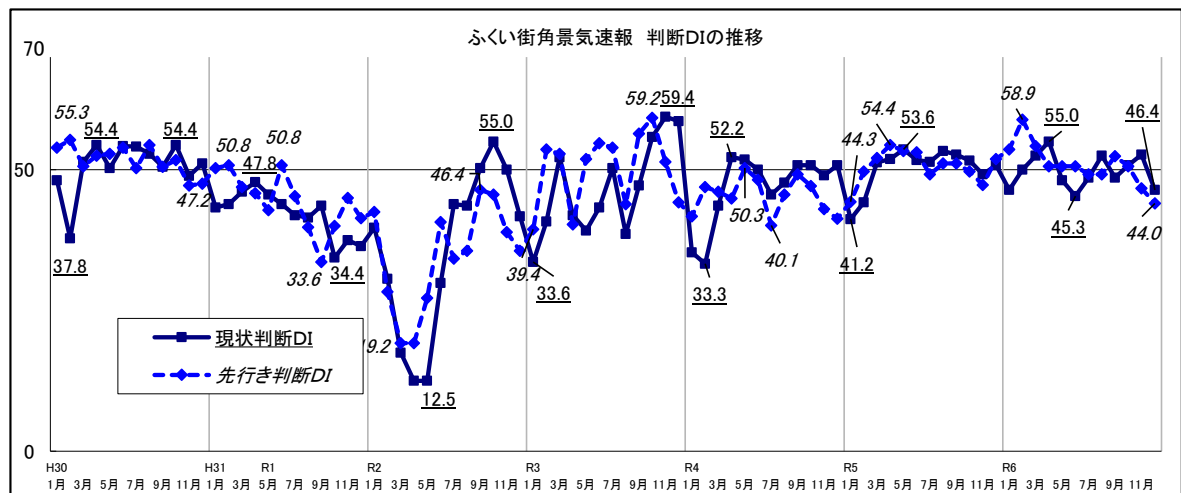
- 1人あたりの買上点数は減少傾向にあり、必要なものだけを買っている印象であり、引き続き節約志向が強い。(スーパー)
- 原材料価格の高騰や人材不足・人件費の高騰など懸念材料もあり、企業をとりまく環境はまだまだ厳しい状況。加えてガソリン代の値上がりや物価上昇が家計に与える影響にも注視が必要。(銀行等金融関連)

■景気の先行き判断DI 44.0 (前月比 ▲2.7)

- 家計動向関連では、前月に比べ 3.9 ポイント低下した。
- 企業動向関連では、前月に比べ 1.5 ポイント低下した。
- 雇用関連では、前月に比べ 2.1 ポイント低下した。

(意見の主な内容)

- 県内における宿泊業は、新幹線効果を生かしつつ、底堅く集客できるものと考えている。物価高等、色々な要素はあるが、人数が伸びずに単価アップによる売上上昇が達成できているので、利益率も上昇している。(観光関係)
- 米国の大統領選の結果を受け、世界情勢や景気動向に不透明感が強まることを懸念している。(電気機械関連)



<目次>

調査の概要	1 P
1. 景気の現状判断DI	2 P
2. 景気の先行き判断DI	2 P
3. 判断理由	(1) 景気の現状判断の理由 3 P
	(2) 景気の先行き判断の理由 4 P
4. 参考	(1) 調査対象の構成 5 P
	(2) 調査票 6 P

調査の概要

1. 調査の目的

県内景気の動向や各業種の状況をより迅速に把握し、景気判断の基礎資料とする。

2. 調査の実施概要

(1) 調査の範囲

県内を福井地区、坂井地区、奥越地区、丹南地区、嶺南地区の5地区に分け、各地区で働くさまざまな業種の方、100名を調査客体とする。

地域別・分野別の客体数

地区	対象地域	調査客体数			
		合計	家計動向	企業動向	雇用情勢
福井	福井市	48	26	17	5
坂井	坂井市、あわら市	11	7	3	1
奥越	大野市、勝山市	8	6	2	0
丹南	鯖江市、越前市とその周辺部	13	2	9	2
嶺南	敦賀市、小浜市とその周辺部	20	11	5	4
計		100	52	36	12

(2) 調査事項

- ① 3か月前と比べた景気の現状判断とその理由
- ② 2～3か月後の景気の先行き判断とその理由

(3) 調査期日等

毎月中旬～下旬に調査実施し、月末～翌月初旬に公表。

3. DI値の算出方法

5段階の判断にそれぞれ以下の点数を与え、これらに各判断の構成比(%)を乗じて、DI値を算出する。

評価	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
点数	1	0.75	0.5	0.25	0

4. DI値について

DI値が50の場合は横ばいを示し、0に近づくほど悪化傾向、100に近づくほど好転傾向であることを示す。

0 ← 50 → 100
 悪くなっている 変わらない 良くなっている

1. 景気の現状判断DI

○県全体の現状判断DI

(DI)	年 月	R6 7	8	9	10	11	12	(前月差)
合計		48.6	52.5	48.6	50.8	52.7	46.4	▲6.3
家計動向関連		41.3	52.3	46.9	50.6	52.2	46.1	▲6.1
小売		37.1	47.2	46.8	47.3	47.5	43.1	▲4.4
飲食		50.0	60.0	41.7	55.0	60.0	50.0	▲10.0
サービス		47.9	60.4	50.0	56.8	62.5	52.3	▲10.2
企業動向関連		53.9	52.9	50.8	51.5	52.2	45.6	▲6.6
製造業		50.0	51.0	51.1	51.0	52.0	46.9	▲5.1
非製造業		62.5	57.5	50.0	52.8	52.8	42.5	▲10.3
雇用関連		62.5	52.1	50.0	50.0	56.3	50.0	▲6.3

○回答別構成比

	年 月	R6 7	8	9	10	11	12	(前月差)
良くなっている		3.3%	3.3%	3.3%	4.4%	4.4%	1.1%	▲3.3
やや良くなっている		17.8%	23.3%	14.1%	17.8%	24.2%	15.4%	▲8.8
変わらない		51.1%	53.3%	58.7%	54.4%	50.5%	54.9%	+4.4
やや悪くなっている		25.6%	20.0%	21.7%	23.3%	19.8%	25.3%	+5.5
悪くなっている		2.2%	0.0%	2.2%	0.0%	1.1%	3.3%	+2.2

2. 景気の先行き判断DI

○県全体の先行き判断DI

(DI)	年 月	R6 7	8	9	10	11	12	(前月差)
合計		49.2	49.2	52.4	50.6	46.7	44.0	▲2.7
家計動向関連		46.7	47.2	54.2	50.6	46.7	42.8	▲3.9
小売		42.2	46.3	53.2	50.0	49.2	43.1	▲6.1
飲食		65.0	40.0	41.7	55.0	35.0	35.0	+0.0
サービス		50.0	52.1	63.6	50.0	45.0	45.5	+0.5
企業動向関連		50.8	50.7	50.8	50.0	44.9	43.4	▲1.5
製造業		48.9	50.0	50.0	50.0	44.0	41.7	▲2.3
非製造業		55.0	52.5	52.8	50.0	47.2	47.5	+0.3
雇用関連		54.2	52.1	50.0	52.1	52.1	50.0	▲2.1

○回答別構成比

	年 月	R6 7	8	9	10	11	12	(前月差)
良くなる		2.2%	1.1%	3.3%	4.4%	1.1%	1.1%	+0.0
やや良くなる		22.2%	20.0%	23.9%	17.8%	16.5%	13.2%	▲3.3
変わらない		50.0%	54.4%	54.3%	54.4%	54.9%	51.6%	▲3.3
やや悪くなる		21.1%	23.3%	16.3%	22.2%	23.1%	28.6%	+5.5
悪くなる		4.4%	1.1%	2.2%	1.1%	4.4%	5.5%	+1.1

3. 判断理由

(1) 景気の現状判断の理由

現状	分野	地区	業種	理由
②やや良くなっている	家計動向	福井	スーパー	気温の低下により、冬物関連の動きが良いため。
		坂井	観光物産関係	年末年始用手土産の発注が多めに入ってきている。
		嶺南	観光関係	9月は明らかに落ち込みが見られたが、10月以降好調をキープしている。
		坂井	観光関係	新幹線開業と北陸デスティネーションキャンペーン効果によるもの。
③変わらない	家計動向	福井	商店街	年末年始の開業効果は一部の店舗に留まり、全体に波及しているとは言い難い。
		嶺南	商店街	確かにイベントが増えたので需要は増えたと思う。現在、インフルエンザが流行っているため、年末の食事会などが減っている。
		坂井	スーパー	1人あたりの買上点数は減少傾向にあり、必要なものだけを買っている印象であり、引き続き節約志向が強い。
		福井	観光関係	季節的要因が大きくかわり観光需要としては減少しているように感じている。越前カニのピークを越え落ち着いてきている。一方、飲食については忘年会シーズンとなり一定の集客は維持できている。
		福井	観光関係	物価高等が続いているが、それに慣れたためか消費控えも少なくなっているように思える。
	企業動向	坂井	繊維関連	業界によって、改善してきている部分と引き続き厳しい部分とが両立してであるため。
		福井	繊維関連	受注は増減なく安定している。
		福井	一般機械関連	設備投資の機運は停滞したままで、来年3月までは現状のまま推移する予測する。
		丹南	電気機械関連	様々な値上げは続いており、賞与の支給などはあったが高揚感や景気上昇という雰囲気ではないため。
		福井	化学・プラスチック関連	生産実績や販売実績に変化が見られないため。
		福井	銀行等金融関連	原材料価格の高騰や人材不足・人件費の高騰など懸念材料もあり、企業をとりまく環境はまだまだ厳しい状況。加えてガソリン代の値上がりや物価上昇が家計に与える影響にも注視が必要。
		福井	建設・不動産関連	景気上昇気運を実感できない。
	雇用	丹南	自治体労働政策担当課	これまでのプロモーションやJRデスティネーションキャンペーンに加え、カニシーズンに入り、市内主要施設の入館者数が増えるなど、引き続き市内の観光産業中心に活性化している。
		福井	学校就職担当者	企業の求人動向に変化がない。
④やや悪くなっている	家計動向	福井	一般小売店	来店客数が減少傾向である。
		嶺南	一般小売店	物価、特に食品が上がり、ほかの消費にお金が回っていない。
		福井	百貨店、SC等	クリスマス商戦などが年々弱くなっている。12/23が祝日から平日になったことは小売業としては厳しい。また物価高(特に最近ではガソリン代)の影響で消費欲が減退している。
		奥越	百貨店、SC等	ガソリンや重油が高い状態が続いている。
		嶺南	飲食関連	物価の上昇と、インフルエンザなどの影響によるもの。
		坂井	観光関係	雪情報(ニュース)がある度に予約がキャンセルとなるため。
	企業動向	丹南	建設・不動産関連	閑散期に入っていくため。
⑤悪くなっている	家計動向	奥越	飲食関連	街のイベント等が無くなったから。

(2) 景気の先行き判断の理由

現状	分野	地区	業種	理由
②やや良くなっている	家計動向	福井	商店街	ふくい桜マラソン、新幹線開業1周年などのイベントがあるため、ある程度の期待はできる。
		福井	スーパー	今後降雪も予想され、買い物頻度は減ると思われるが、点数、単価増が見込まれるため。
		福井	観光関係	この冬季においてノロウイルス、インフルエンザ等で欠員が目立ち、人員不足による供給不足。これによる機会損失が懸念材料である。
	企業動向	福井	銀行等金融関連	引き続き、コスト上昇と価格転嫁の動向や人手不足の影響など注視が必要。一方で冬のシーズンを迎え、北陸新幹線の影響による観光需要の回復が期待される。
③変わらない	家計動向	嶺南	商店街	良い水準を保ったまま変わらない。年明け、3月の北陸新幹線敦賀駅開業1年ということで「ピークも落ち着いたところが良い」という方もお越しにに来るのではないかと思います。
		福井	百貨店、SC等	セールを控え、一時的に衣料品などの動きが活発化を予測しているが、1月中以降より、一品単価上昇(値上)の情報があり、春先に向けても、当面現状を維持した慎重な行動になると予測する。
		福井	百貨店、SC等	ガソリン値上げなど節約志向はさらに増し、正月以降は特に厳しいことが予想される。
		福井	サービス業関連	景気上向きの材料が見当たらないため。
		嶺南	観光関係	県内における宿泊業は、新幹線効果を生かしつつ、底堅く集客できるものと考えている。物価高等、色々な要素はあるが、人数が伸びずに単価アップによる売上上昇が達成できているので、利益率も上昇している。
		坂井	観光関係	新幹線開業効果がどれだけ残るか、北陸デスティネーションキャンペーン終了で伸びは鈍るのではないだろうか。
	企業動向	坂井	繊維関連	原料の高騰や為替の動向等の不安定要素もあり、先行き不透明なため。
		丹南	電気機械関連	トランプ新大統領誕生、年金の壁問題など様々な政治課題、為替の動きなど、不透明な部分が多く予想が難しいため。
		福井	化学・プラスチック関連	生産・販売計画においてほぼ差異が推測されないため。
		嶺南	商社	個人消費の回復が遅い。
		福井	建設・不動産関連	政治・経済とも、不透明である。
		福井	運輸関連	足元、前年同期並みで推移しており、今後もその傾向が続く見通し。
	雇用	嶺南	労働相談員	労働相談件数はここ最近変化なく推移しているため、3か月後も変化はないと考える。
		嶺南	ジョブカフェ担当者	103万円の壁の変動により、求人側や求職者側のそれぞれの雇用形態や働き方への意識なども変わってくる可能性もある。まだ先ではあるが、そういったことも踏まえて、動きに注目していきたい。
④やや悪くなっている	家計動向	坂井	スーパー	ガソリンの値上げも予定されており、節約志向は高まると思われる。
		嶺南	コンビニエンスストア	すべての物の値段が上がっていて、買い物を必要最低限にしている方が多いような気がする。
		福井	飲食関連	蟹の時期が終わる。また、JRのデスティネーションキャンペーンが終わり、福井の集客力の低下。
		坂井	観光関係	新年会の予約が例年ほどなく、今後も見込まれない。
		福井	観光関係	天候次第ではあり、先行き不安ではある。特に1、2月の集客はあまり動いていない。3月に向けた活動を進めている。
	企業動向	奥越	繊維関連	アメリカの政権交代のほか、人材不足から自社生産能力の低下を懸念する。
		丹南	電気機械関連	米国の大統領選の結果を受け、世界情勢や景気動向に不透明感が強まることを懸念している。
⑤悪くなっている	家計動向	奥越	飲食関連	雪の影響で主要道路が使えない時もあるのに加えて、冬の期間はいつも閑散期になる。
	企業動向	福井	商社	12月と1月の二度に渡り補助金が減り、石油製品の価格は高騰するため。

4. 参 考

(1) 調査対象の構成

調査対象		人数
家計動向関連		52
商店街、小売店		
	商店街関係者	5
	小売店経営者・従業員	7
百貨店、SC等		
	店長・売場主任	10
スーパー		
	店長・従業員	5
家電販売店		
	経営者・店長・従業員	2
コンビニエンスストア		
	店長・従業員	2
観光物産関係		
	売場責任者	3
飲食関連		
	レストラン等経営者・店長・スタッフ	4
	居酒屋等経営者・店長・スタッフ	2
その他サービス関連		
	サービス業経営者・従業員	4
観光関係		
	旅館関係者	2
	ビジネスホテル関係者	2
	観光・レジャー施設関係者	1
	旅行代理店経営者・従業員等	2
	タクシー運転手	1
企業動向関連		36
製造業経営者・従業員		
	繊維工業	4
	眼鏡工業	3
	一般機械工業	3
	電気機械工業	3
	化学・プラスチック工業	3
	鉄鋼業	2
	伝統工芸	2
	商社	2
	食料品製造業	2
	その他製造関連	2
非製造業経営者・従業員		
	IT関連	2
	金融機関	2
	建設・不動産	3
	運輸	3
雇用関連		12
	自治体労働政策担当課	2
	労働相談員	2
	学校就職担当者	3
	ジョブカフェ担当者	2
	人材派遣会社	1
	就職情報誌編集者	2
計		100

4. 参 考

(2) 調査票

あなたの日々の仕事や仕事を通じて接するお客様の様子から分かる、あなたの身の回りの景気の状態についてご回答ください。

(企業・団体名および役職等)

(記入者氏名)

【質問1】

景気が上向きか下向きか、どちらの方向に向かっているかの質問です。
今月のあなたの身の回りの景気は、3か月前と比べて良くなっていると思いますか、悪くなっていると思いますか。
次の5つの中から、お選びください。

- ①良くなっている ②やや良くなっている ③変わらない
④やや悪くなっている ⑤悪くなっている

【質問2】

質問1でそのように回答した理由を教えてください。

自由回答（あなたの仕事に関してコメントをお願いします。）

【質問3】

将来の景気についての質問です。今後2～3か月先のあなたの身の回りの景気は、今月より良くなると思いますか、悪くなると思いますか。
次の5つの中から、お選びください。

- ①良くなる ②やや良くなる ③変わらない ④やや悪くなる ⑤悪くなる

【質問4】

質問3でそのように回答した理由を教えてください。

自由回答（あなたの仕事に関してコメントをお願いします。）

本書の内容についての質問は、下記にお問い合わせください。

福井市大手3丁目17-1

福井県 産業労働部 政策推進グループ

TEL 0776-20-0364 (ダイヤルイン)